

宮前区



■人口 234,528 人

■世帯数 103,608 世帯

■面積 18.60 km²

(令和 3 (2021) 年 10 月 1 日現在)

宮前区の花

「コスモス」



MIYAMAE

宮前区の木

「サクラ」

1 宮前区の概要

- 宮前区は、多摩丘陵の一角に位置し、区内には、平瀬川、矢上川、有馬川の3つの河川が流れています。これらの川に挟まれて、丘陵、坂、谷戸などで構成された起伏に富んだ地形が特徴です。
- 明治 22 (1889) 年の市制・町村制の施行に伴い、橋樹郡 (たちばなぐん) 宮前村 (みやさきむら) 及び向丘村 (むかおかむら) が誕生しました。両村は、昭和 13 (1938) 年に本市に編入され、昭和 47 (1972) 年に本市が政令指定都市に移行した後は高津区に属していましたが、昭和 57 (1982) 年に分区し、現在の宮前区となりました。
- 昭和 41 (1966) 年の溝の口から長津田間の田園都市線の開通、昭和 43 (1968) 年の東名高速道路・東名川崎インターチェンジの開通・開設などによる交通基盤の整備とともに、郊外住宅地としての開発が進みました。その結果、人口は、分区当時の約 15 万人から急速に増加し、令和 3 (2021) 年 10 月現在で約 23.5 万人となっています。
- 市内 7 区の中では生産緑地面積が最も広く、農産物直売所が区内各地に点在しているほか、公園緑地数も 2 番目に多いなど、身近に農や緑を感じることができます。また、旧石器時代の鷲ヶ峰遺跡や弥生時代の東高根遺跡、国史跡にも指定された橋樹官衙 (たちばなかんが) 遺跡群 (影向寺 (ようごうじ) 遺跡) などが存在し、歴史のある土地でもあります。

宮前区的主要地域資源・魅力など



初山の獅子舞



住宅地に残る農地 (宮前メロン)



菅生緑地



影向寺 (橋樹官衙遺跡群)

2 まちづくりの方向性

「人が好き 緑が好き まちが好き」

- 宮前区は、起伏に富んだ多摩丘陵の一角に位置し、地域に根付いた歴史・文化、農のある風景や平瀬川の水辺、菅生緑地や身近な公園の豊かな緑などの多彩な地域資源に恵まれているとともに、多くの主体的に活動する区民に支えられてきたまちです。
- キャッチフレーズ「人が好き 緑が好き まちが好き」は、それぞれ「コミュニティ豊かな区民の和」、「豊かな自然」、「自然と区民の生活が調和する豊かな地域」を象徴しており、平成5（1993）年に区制10周年を記念して区民により選ばれ、親しまれてきたものです。
- 今後も、区民が守り、大切に育んできた歴史・文化や農・自然などの多彩な地域資源を活かし、誰もが地域に愛着を持ち、生きがいを持って暮らせる、区民が主役のまちづくりを進めていきます。

3 これまでの主な取組状況

● 多彩な地域資源を活かしたまちづくりの推進

歴史ガイドや農産物マップの配布、ウォーキングイベントや「響け！みやまえ太鼓ミーティング」など、多彩な歴史・文化、農や自然などの地域資源の魅力の発信や地域資源を活かした参加型イベントの開催により、地域への愛着や活動への意識の醸成を図り、区民の主体的な活動によるまちづくりを進めています。

● 地域コミュニティ活性化に向けた地域活動の担い手・ネットワーク・場づくりの推進

身近な地域課題の解決に向けて、区民自らが主体的に取り組めるよう、子育て世代と地域活動団体等の接点となる多世代交流の場の創出や多様な主体の連携促進に取り組むことなどにより、地域活動に関わるきっかけづくりや人材育成、市民活動団体間のネットワーク形成等を促進するとともに、市民活動に必要な場の提供や環境整備を進めています。

● 心がつながり、互いに支え合う地域の輪づくりの推進

高齢者に限らず、障害者や子ども、子育て中の親などを加え、現時点で他者からのケアを必要としない方々を含めたすべての区民が安心して暮らし続けることができるよう、地域のつながり・支え合いの大切さへの理解と共感を広げる取組やネットワーク会議等を通じた区民・事業者・行政等の連携強化の取組等により、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進しています。

● 地域における、切れ目のない子ども・子育て支援の推進

子ども・子育てネットワーク会議の開催や、「冒険遊び場」の活動支援を通じ、地域の子育て活動に携わる区民と協働し、切れ目のない子ども・子育て支援を進めるとともに、情報誌やホームページ、SNS等の各種情報メディアを効果的に活用することにより、さまざまな情報を発信・提供し、地域で安心して子育てができる環境づくりに取り組んでいます。

● 区民との協働による安全・安心で、快適なまちづくりの推進

さまざまな世代が参加する防災フェア等の普及啓発事業から地域の自主防災組織訓練や避難所開設訓練へつなげるしくみづくりを構築するとともに、区内の地域人材を活用し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進しています。また、学校連携により防犯・防災教育を通じて啓発活動を推進し、さらに、より多くの区民がスポーツに親しみ、健康や体力の維持増進が図れるよう、スポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいます。

4 現状と課題

●区民の手で守り、育ててきた地域の魅力を次の世代へと引き継ぎます。

- 宮前区は、国史跡に指定された影向寺遺跡や地域に根ざした伝統芸能などの歴史・文化、農のある風景や平瀬川流域の水辺、菅生緑地などの緑豊かな自然等、魅力ある地域資源に恵まれており、豊かな自然環境を活かした区民主体のまちづくりの取組が盛んで、区内外で高い評価を得ています。
- 今後も、魅力ある地域であり続けられるよう、より多くの区民に地域の魅力と大切さを知ってもらい、次の世代へと引き継いでいくことが求められています。

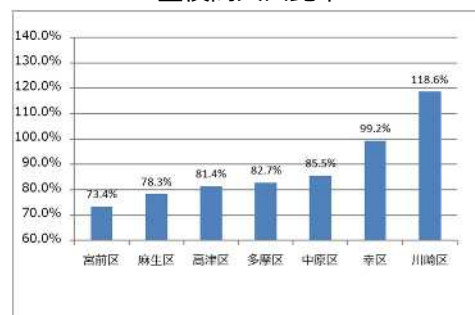


平瀬川流域の水辺

●昼夜間人口比率が 73.4%と市内で最も低くなっています。

- 昼夜間人口比率が 73.4%（平成 27（2015）年国勢調査）と市内で最も低くなっており、区外を日常の生活圏としている区民が多数いることから、地域の魅力を知ること、地域への愛着や誇りを育むことが必要となっています。
- 地域包括ケアシステムの構築や地域防災力の向上など、地域の課題解決にあたっては、地域の一員としての自覚を高めるとともに、地域での活動のきっかけづくりや、人と人をつなげる地域コミュニティづくりが一層求められています。

昼夜間人口比率

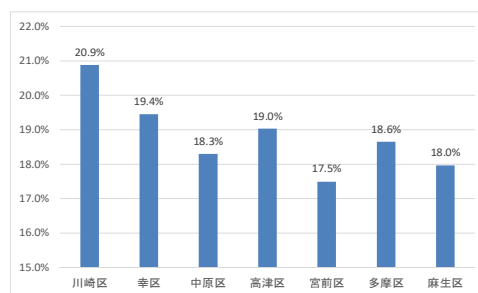


資料：平成 27（2015）年国勢調査

●急速に高齢化が進む中で、「元気な高齢者が多いまち」という長所を維持する取組が求められています。

- 宮前区は、男性・女性の平均寿命が共に全国 10 位（男性 82.4 歳。女性 88.4 歳。平成 27（2015）年市区町村別生命表（厚生労働省））で、要介護認定率が 17.5%（令和 2（2020）年 3 月末現在）と市内で最も低いなど、「元気な高齢者が多いまち」です。この特長を維持していくためには、高齢者に加え、若年層に対しても健康づくりの大切さを伝えていくとともに、元気な高齢者が地域で活躍できる場づくりやきっかけづくりが必要です。
- 一方で、今後は急速に高齢化が進んでいくことが見込まれ、また、ひとり暮らしで見守りが必要な高齢者など、支援が必要な区民も増えています。それぞれの地域で区民が主体的に活動し、互いに支え合えるしくみづくりが求められています。

区別の要介護認定率

資料：健康福祉局資料
（令和 2（2020）年 3 月末現在）

●安心して子育てできる環境の整備が求められています。

- 区内の0～14歳の人口の割合は、13.5%（令和元（2019）年10月1日現在）と7区の中で最も高く、転入も多い状況です。また、「夫婦と子」のみからなる世帯の比率は、34.4%（平成27（2015）年国勢調査）と、これも7区の中で最も高く、区内には多くの核家族が暮らしています。
- 慣れない土地で育児をする保護者を含め、すべての子育て中の家庭が安心して子育てできるよう、地域全体で子育てを支える環境をさまざまな主体が連携して整備し、子ども・若者や保護者を支える必要があります。

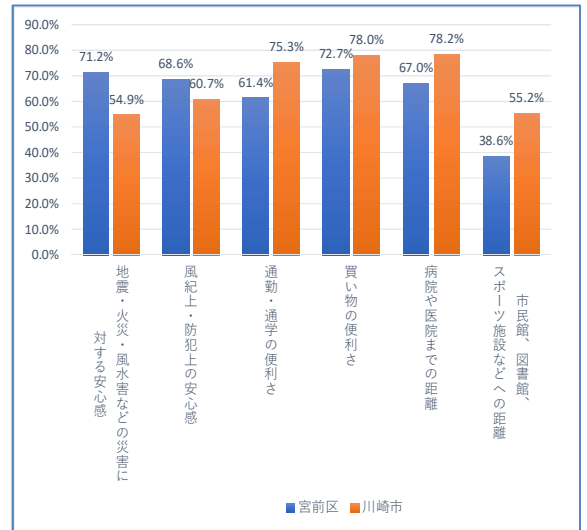


資料：区、年齢3区分別人口の割合（令和元年10月1日現在）

●安全・安心で、快適なまちにしたいという区民の意識が高まっています。

- 令和2（2020）年度かわさき市民アンケートでは、「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」や「風紀上・防犯上の安心感」など、安全性への満足度は市全体より高くなっているものの、「市政の仕事で今後特に力をいれてほしいこと」の上位に「防犯対策」が挙げられ、より一層、安全・安心なまちにしたいという区民の意識がうかがえます。
- 一方で、「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」や「通勤・通学の便利さ」、「病院や医院までの距離」など、利便性等への満足度が市全体の平均を下回っています。そのため、鷺沼駅周辺再編整備の機会を捉えた宮前区全体の将来を見据えた取組との連携や、坂の多い地域の交通課題への対応をはじめとする生活環境向上、それぞれの地域で身近にスポーツや文化に親しめる環境づくりなど、区民と協働しながら、より快適に暮らせるまちづくりを進める必要があります。

生活環境満足度



資料：令和2（2020）年度かわさき市民アンケート

5 計画期間の主な取組

多彩な地域資源を活かしたまちづくりの推進

主な取組の方向性

- 文化・伝統の保存・継承に向けた次世代の人材の発掘と育成の推進
- 歴史・農などの地域資源を活用した魅力発信・参加型イベントの開催による、郷土愛の醸成と多様な人材の参画による地域づくりの推進
- スポーツ施設等を活用した、さまざまな世代がスポーツや健康づくりに親しめる環境づくりの推進

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3（2021）年度	令和4（2022）～7（2025）年度
みやまえ太鼓ミーティング開催事業 和太鼓団体による演奏のほか、地域に伝わる民俗芸能の紹介を取り入れたイベントを行い、文化・伝統の再認識と、保存・継承に向けた次世代の人材の発掘と育成につなげます。	●文化・伝統の保存・継承等に向けた取組の推進 ・イベントの開催	・和太鼓演奏や民俗芸能の発表などによる「響け！みやまえ太鼓ミーティング」の開催
地域の魅力発信事業 区内の「歴史的遺産」、「農」といった地域資源を活用したマップの配布による情報発信等により、郷土愛の醸成と多様な人材の参画による地域づくりを推進します。	●「歴史的遺産」を活用した魅力発信 ・マップ配布等の実施 ●市民活動団体との協働による「農」を活用した魅力発信 ・マップ配布等の実施	・市民活動団体との協働による宮前歴史ガイドの発行 ・市民活動団体との協働による歴史ガイドまち歩きマップの発行 ・市民活動団体との協働による歴史的資源を紹介するまち歩きイベントの開催 ・市民活動団体との協働による農産物直売所ガイド＆マップの発行 ・宮前区の農の魅力を伝えるイベントの開催
宮前区スポーツ推進事業 健康を維持するために、区内スポーツ施設等を活用し、さまざまな世代がスポーツ・パラスポーツ等を気軽に楽しむ環境づくりをします。	●フロントウンさぎぬまとの連携事業の実施 ・教室等の開催 ●スポーツふれあい事業の実施 ・イベント等の実施	・ポールウォーキング&ストレッチ教室、スポーツ体験会等の開催 ・ふれあいスポーツ事業の実施



響け！みやまえ太鼓ミーティング



ポールウォーキング

地域コミュニティ活性化に向けた地域活動の担い手・ネットワーク・場づくりの推進

主な取組の方向性

- 町内会・自治会をはじめとする地域活動の活性化に向けた取組の推進
- 緑化活動団体の主体的な花壇管理・整備の支援による、花と緑のあふれる住みよいまちづくり等の区民主体の取組の推進
- 様々な世代や多様な主体が参画するイベントの開催による、市民の交流促進に向けた取組の推進

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3（2021）年度	令和4（2022）～7（2025）年度
みやまえご近助さん事業 子育て世代に対して、町内会・自治会をはじめとした地域活動への関心や参加を促すとともに、地区カルテの情報を区民と共有することで、地域のこれからについて考えるきっかけとします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て世代の地域活動への関心や参加の促進、多様な主体の連携促進の取組 ・サイトの運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮前区ご近所情報サイト「みやまえご近助さん」の運営 ・「ご近助コンサルジ」の活動を通じた子育て世代の地域活動への関心や参加の促進、多様な主体の連携促進の取組
花と緑のあふれる住みよいまちづくり事業 区民が主体的に花壇管理、整備を推進し、地域コミュニティの形成を支援するとともに、地域の緑化により区のイメージアップを図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共用地での花壇づくりを契機とした地域コミュニティの形成支援 ・花苗の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園等を活用した花壇づくりのための緑化活動団体に対する花苗の提供 ● 東名川崎インターチェンジ前花壇づくりの実施による市・区のイメージアップ ・花壇づくりの実施 ・緑化活動団体、事業者との協働による花壇づくり
多様な主体が参画する子どもあそびランド事業 「夏休み子どもあそびランド」を開催し、遊びを通じて多様な市民の交流を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 工作や昔遊びなどで楽しめる夏休み子どもあそびランドの開催 ・イベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み子どもあそびランドの実施 ● あそびの達人の育成 ・講座の実施 ・達人養成講座等の実施



東名川崎インターチェンジ前花壇づくり



夏休み子どもあそびランド

心がつながり、互いに支え合う地域の輪づくりの推進

主な取組の方向性

- 地域のつながり・支え合いの大切さへの理解と共感を広げる取組や区民・事業者・行政等の連携強化に向けた取組の推進
- 障害の有無に関わらず、すべての区民が安心して暮らし続けることができる地域づくりに向けた、交流と相互理解を深める取組の推進
- さまざまな媒体を活用した健康づくりに関連した情報やその大切さを伝えていく取組の推進

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3(2021)年度	令和4(2022)～7(2025)年度
地域包括ケアシステム推進事業 子どもから高齢者までがゆるやかにつながり、全ての区民が安心して暮らせるよう、区民等への互助の意識づくりを行うとともに、区民・事業者・行政等の連携強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民等の互助の取組支援と関係団体の連携強化に向けた取組の推進 ● ゆるやかにつながり、安心して暮らせる地域づくりに向けた取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域課題の解決に向けた地域活動団体への講師派遣を通じた住民相互の支え合いの推進 ● 多様な主体と連携した地域包括ケアシステム推進に資する取組の実施 ● 講演会の実施 ● 地域包括ケアシステム推進に関する講演会等の開催 ● 広報物の作成・配布 ● 子ども、子育て世代や高齢者等に向けた広報・啓発
しあわせを呼ぶコンサート開催事業 障害者施設の利用者が参加するコンサートを開催し、交流と相互理解を深め、心のバリアフリーや障害者の自立支援・社会参画の拡大を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者施設利用者が出演する「しあわせを呼ぶコンサート」の開催 ● 障害者施設における音楽活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● コンサートでのベートーヴェンの「第九」などの発表 ● 声楽家の巡回による障害者施設利用者への合唱指導
健康づくり支援事業 区民の健康づくりの実践を支援するために、健康に関する様々な情報や、地域の活動の場についての情報を発信します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康に関する情報や地域の活動の場に関する情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ● 配布の実施 ● 公園体操や認知症カフェ等のマップの配布



しあわせを呼ぶコンサート



宮前区公園体操マップ

地域における、切れ目のない子ども・子育て支援の推進

主な取組の方向性

- 誰もが安心して子育てできる地域づくりに向けた、子育てに関する情報の効果的な発信
- 地域全体で子ども・子育てを支える環境づくりに向けた、関係機関や団体等との連携強化や、子育て世代と地域のあらゆる主体との交流を促進する取組の支援の実施
- 地域に関心を持ち、子どもの健やかな成長を促すための、さまざまな世代との交流や地域と連携した取組の推進

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3(2021)年度	令和4(2022)～7(2025)年度
子育て情報発信事業 情報誌やホームページ等を活用して、子育てに関する必要な情報を効果的に発信し、地域の中で安心して子育てができるよう支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て情報の普及に向けた広報 ・子育てガイドの配布 ・HPでの発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てガイド「とことこ」の配布 ・HPやSNSを活用した子育て情報の効果的な発信
子ども子育て支援事業 子ども・子育てに関わる地域の関係者の連携により、子どもとその保護者の支援や、子どもたちが安全・安心に暮らせるまちの実現を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 区内子ども・子育て関連団体間のネットワークの強化 ・会議の開催 ● 子育て世代と地域とのつながり強化へ向けた支援 ・転入者等の子育て世代の交流支援 ● 子ども安全・安心協議会の開催 ・協議会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育てネットワーク会議の開催 ・乳幼児を持つ親子と子育てグループやサロン・広場等の交流支援 ・子ども安全・安心協議会の開催
外遊び活動支援事業 親子で自然体験ができる機会の創出や地域住民を主体とした「冒険遊び場」活動を契機として、子どもの自然を大切にすることを育むとともに、子どもたちのすこやかな成長と地域コミュニティの活性化をめざします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域主体での子どもの外遊び「冒険遊び場」等の開催支援 ・会議の開催支援 ・出張冒険遊び場の開催 ・シンポジウムの開催 ・リーフレットの発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動団体、担い手の拡充に向けた支援の実施 ・出張冒険遊び場等、子どもが自然や地域と関わるイベントの開催 ・シンポジウムの開催、リーフレットの配布等による外遊び等に関する広報・啓発の推進



みやまえ子育てガイド「とことこ」



冒険遊び場

区民との協働による安全・安心で、快適なまちづくりの推進

主な取組の方向性

- さまざまな世代が参加する防災フェア等の普及啓発事業から地域の自主防災組織や避難所開設訓練へとつなげるしくみづくりの構築と多世代にわたる地域の人材育成
- 地域の防犯活動の支援と安全・安心に関する啓発による、安全で安心して暮らせるまちづくりの推進

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3（2021）年度	令和4（2022）～7（2025）年度
防災意識普及啓発事業 防災フェア、防災推進員養成研修等を行い、区民の防災意識向上と地域人材の育成を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●防災意識の醸成に向けた普及・啓発の実施 ・イベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・「みやまご近助ピクニック」と連携した防災フェアの開催 ●地域における防災に関する人材の育成 ・研修の実施 ・防災推進員養成研修の実施 ・防災推進員フォロー研修の継続実施
安全・安心まちづくり推進事業 地域の防犯パトロールやあいさつ運動の推進などにより、安全で安心して暮らせるまちをめざします。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域防犯対策の強化 ・団体支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防犯団体のパトロール活動への支援 ・地域防犯団体の落書き消し活動への支援 ●区内中学校・高校におけるスクエアドストレート方式の交通安全教室の実施 ・区内学校での開催 ・区内中学校・高校における交通安全教室の実施



交通安全教室（スクエアドストレート方式）



防災フェア 2019

区における地域の課題解決に向けたその他の取組

取組の柱 区名	事業名	概要	現状	事業内容・目標
			令和3(2021)年度	令和4～7(2022～2025)年度
宮前区				
多彩な地域資源を活かしたまちづくりの推進				
	宮前区市民提案型総合情報発信事業	区内のさまざまな魅力・情報の発信に向けて、市民活動団体等からの事業提案を募集し、協働による取組を推進します。	●区内のさまざまな魅力・情報の発信に向けた市民提案型事業の実施	
	地域情報発信事業	ガイドマップや地域で行われている伝統行事やイベントを掲載した情報誌、地域の魅力を盛り込んだ冊子の作成等により、地域への関心を高め、コミュニティの活性化を図ります。	●各種刊行物の作成・配布 ●宮前区PRキャラクターを活用した区の魅力発信	
	みやまえカルタ活用事業	地域の魅力を発信する「みやまえカルタ」を活用し、世代間・地域間等の交流促進を図り、地域コミュニティの活性化につなげます。	●「みやまえカルタ」の販売・貸出	
	宮前区ふるさと意識高揚アーカイブ事業	宮前区の歴史や昔の景観を世代間で共有することにより、区民のふるさと意識の向上を図ります。	●写真等資料の収集・展示	
地域コミュニティ活性化に向けた地域活動の担い手・ネットワーク・場づくりの推進等				
	地域活動の促進に向けた人材育成及び推進体制の整備事業	「宮前区地域人材育成に係る基本指針」に基づき、講座などを活用した地域人材の育成を進めます。	●「宮前区地域人材育成に係る基本指針」に基づく取組の推進	
	まちづくり推進事業	区内の市民活動団体への支援や団体間の交流・連携の促進、イベントの実施等を通じて、地域の活性化を図ることにより、区民主体のまちづくりを推進します。	●資金提供による市民活動団体に対するスタートアップ・自立促進支援 ●市民活動団体の活性化に向けた市民活動団体の交流の場の創出 ●区内の魅力ある場所や景観、まちづくり活動の様子などを紹介する「フォトコンテスト」の開催	
	まちづくり支援事業	区民と協働のまちづくりを効率的・効果的に推進するために、コンサルタントの意見や地域にとらわれない外部の立場からの提案、助言及び情報等を活用し区のまちづくりを支援します。	●まちづくりに係る社会・環境変化等に応じた適切なコンサルティングの実施	
	みやまえスポーツふえすていばる開催事業	各種スポーツ大会を企画し実施することで、さまざまな世代がスポーツに親しむ機会を提供し、区民の健康増進と地域コミュニティの活性化を図ります。	●各種スポーツ大会の開催 ●区民が自主的に開催する大会への支援	
	市民活動支援拠点のネットワーク事業	市民活動に必要な活動場所の確保や機能整備等を行い、活動団体の運営支援や情報発信を行うことで、地域コミュニティの醸成につなげます。	●市民活動の活性化に向けた活動の場等の提供、紹介	
	みんなの道路公園事業	地域コミュニティの核としての公園の利活用を進めるため、区民との協働による公園の樹木への名札の取付や公園の清掃活動を通して公園愛護活動団体の設立支援、活性化を図ります。また、区のシンボルマークを掲載した園名板の更新によるイメージ向上を図ります。	●区民との協働による樹名板の設置 ●区民参加型による公園等の清掃活動の実施 ●園名板の作製・設置	
	町内会・自治会加入促進事業	地域コミュニティの形成に重要な役割を担っている町内会・自治会の広報活動・加入促進を支援します。	●転入者への町内会・自治会エリアマップの作成・配布 ●子育て世代向け町内会・自治会加入促進リーフレットの作成・配布	
	区民祭開催経費	区民の手作りによる宮前区民祭を開催することにより、世代間交流や地域コミュニティの活性化を図ります。	●宮前区民祭実行委員会による区民祭の開催	

取組の柱 区名	事業名	概要	現状	事業内容・目標
			令和3(2021)年度	令和4～7(2022～2025)年度
地域における、切れ目のない子ども・子育て支援の推進				
	宮前区子育て支援事業	子育て世代の育児の孤立化の防止や育児不安についての軽減に向け、より効果的な地域支援に繋げていけるよう、子育てに関わる施設等に関する情報発信に取り組みます。	●子育てに関わる施設等に関する情報発信	
	子ども包括支援事業	「こどもサポート南野川」におけるさまざまな課題を持つ子どもたちの居場所づくりと生活・学習支援など、きめ細やかな子ども子育て支援を行います。	●不登校などの課題を持つ子どもたちへの支援の推進 ●子ども・子育てに関する相談・情報提供の推進	
	友好都市交流事業	交流都市である長野県佐久市との物産観光交流などを実施します。	●物産・観光交流事業の実施	
区民との協働による安全・安心で、快適なまちづくりの推進				
	地域防災力向上事業	資器材の配置等による避難所の環境整備により、地域防災力の向上を図ります。	●資器材の配置等による避難所の環境整備	
	次世代まちづくり事業	宮前区における次世代につながる暮らしやすさの向上に資する地域主体の取組の支援を行います。	●区民の暮らしやすさの向上に資する地域主体の取組への支援	
	宮前区スポーツ環境整備事業	より多くの区民がスポーツに親しみ、健康や体力の維持増進を図れる環境づくりのため、西長沢公園多目的広場の整備や、鷲ヶ峰けやき公園多目的広場の維持管理を行います。	●スポーツ利用のための鷲ヶ峰けやき公園多目的広場の維持管理 ●スポーツ利用のための西長沢公園多目的広場の維持管理	
区役所サービス向上事業				
	区役所庁舎エコ化事業	庁舎の省エネルギー化を推進し、身近な省エネの取組として区民への啓発を行うとともに、庁舎利用の快適性と来庁者へのサービスの向上を図ります。	●照明設備のLED化の実施	
	みやまえロビーコンサート開催事業	区役所2階ロビーほか区内行政施設においてコンサートを開催することにより、区役所への親近感、イメージアップ、区民サービスの向上を図ります。	●区役所2階ロビー等における「みやまえロビーコンサート」の開催	
	バリアフリー推進事業	区役所庁舎及びその周辺のバリアフリー化を推進し、区民が安全に利用できる環境を整えます。	●区役所市民広場のタイルの改修	
	窓口サービス向上事業	来庁者が、区役所窓口を快適に利用していただくための環境整備を行います。	●毎年ワーキングチームを結成し、よりよい窓口サービスを提供するための在り方等の検討 ●転入者への各種手続案内チラシの作成及び配布 ●待合ロビー内キッズコーナーへの絵本の補充	
	区役所サービス向上事業	区役所庁舎内において、快適な利用環境の実現と、サービスの向上を図ります。	●快適な庁舎利用環境の実現、サービス向上の推進	
地域課題対応事業その他事業				
	宮前区制40周年事業	令和4年度に区制40周年を迎えることから、記念事業を実施します。	●記念式典及び関連事業の実施	
	管理運営費	各地域課題対応事業の実施に必要な事務経費を適切に管理・執行します。	●管理運営費の管理・執行	
区の新たな課題即応事業				
	区の新たな課題即応事業	新たに生じた課題に、適切かつ迅速に対応し、解決に向けた取組を推進します。	●新たに発生する課題に対する、適切かつ迅速な対応	